

した状態になっている。小面積であっても、初期雑草を抑制しなければこのような状態になるので、作付面積の多少にかかわらず初期雑草を除くことがとくに大切であり、ダイズ作をとりもどすためにも必要なことである。

いずれにせよ、ダイズは省力作物であり、低収益性作物でもあるので、初期雑草をおさえることが、ダイズ作の経営的有利性をもたらせる方法である。なお、長野県における昭和37年の実態調査によれば、手取りや草かきなどによる除草が大部分であることが判る。(第13図)。しかし、除草剤の使用が少ない。これはダイズ畑における除草剤の効果や簡便な散布が出来ないと考えている農家が多いためである。我々は試験場で3.5haのダイズ畑を経営しているが、次のような作業順序で手取り除草はごく一部だけしか行っていない。

播種準備(5月上旬)―作畦(5月下旬)―播種(6月上旬)―覆土―除草剤散布―中耕(7月上中旬2回)―培土(7月中下旬1回)―害虫防除(8月下旬および9月上旬の2回)―収穫(10月)

以上のように、適確な除草剤を均一に散布することによって、手労働を費やすことがないわけである。

輪作体系のなかで省力作物として、また、土地の利用上から清浄作物として導入する場面は

非常に多いはずであり、入れることが望ましい。そのためには、合理的な除草体系として播種後の除草剤を使用することが大切であり、これがダイズ作の経営的有利性を高める手段である。

8. お わ り に

ダイズはわが国においては伝統食品の味噌、醤油、豆腐、凍豆腐、納豆、湯葉、ガンモドキなどに利用されている。これらのダイズは大部分輸入にたよっているが、ダイズは土地、気象風土を選ぶことが少なく、畦畔や空地にも作れる特性をもっている。度々述べてきたように、初期雑草をおさえれば省力作物となり、機械化にも適した作物である。

播種後土壌処理による除草剤は、沢山開発され、地域ごとに普及薬剤が決っている。これをどのように普及させるかが問題で、農民の意識だけで初期雑草をおさえることができる。古い言葉に「上農は草をみずして草をとり、下農は草をみてから草をとる」と言われ、初期雑草防除の除草剤の使用は上農になり得るのである。昔の言葉であっても、除草剤を使う現代にあてはまる言葉である。労働力の少なくなった現在、雑草の発生しない前に除草剤の土壌処理によって除草を行うことが、大豆栽培の上で特に大切なことである。

昭和51年度林業関係除草剤・ 生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会技術部

昭和51年度林業関係委託試験成績検討会は、

昭和52年1月27日、国立教育会館(東京)にお

いて試験場関係者および委託関係者等約40名参
集のもとに開催された。

当者の報告、その質疑応答ならびに慎重な検討
がなされた。

当検討会では、除草剤2薬剤合計6点、生育
調節剤3薬剤合計10点について、各試験場所担

その判定結果は次のとおりである。

昭和51年度 林業関係除草剤・生育調節剤試験薬剤一覧および判定結果

薬 ・ 種 類 名 ○ 商 品 名	剤型	有効成分および 含 有 率	委 託 会 社 名	対 象 と す る		適用場面	試験実施 場 所	今回 判定	判定理由・内 容 そ の 他
				樹 種	雑 草				
A 除 草 剤									
NTN-80 ・ (有機燐系) ○ トクノールM	水和	0-メチル-0- - (2-ニトロ -パラ-トリル) N-イソプロピ ル-ホスホロア ミドチオネート 60.0%	日本特殊農業 製造 (株)	スギ, ヒノキ, アカマ ツ.	キク科 を除く 1年生 の雑 草.	まきつけ 床	岩手林試, 福島林試, (2)	実 ・ 継	実: 東北南部以南, 150~250g /10a, スギ ・ヒノキ・ア カマツまき付 け直後および 生育期, 雑草 発生前全面土 壌処理. 継: スギ・アカマ ツについて, 岩手および他 の東北地方で 1カ所以上で 薬害について 確認.
NTN-80 ・ (有機燐系) ○ トクノール M粒剤	粒	同 上 5.0%	同 上	スギ, ヒノキ, アカマ ツ.	キク科 を除く 1年生 の雑 草.	床がえ 床	静岡林試, 三重林技 センター, 鳥取林試, 広島林試, (4)	実	4~5kg/10 a, スギ・ヒ ノキ・アカマ ツ植付後およ び生育期, 雑 草発生前全面 土壌処理.
B 生 育 調 節 剤									
N-2000 ・ (発根促進) ○	塗布	9-ベンジルア デニン 1.0, 0.1, 0.01%	日研化学(株)	クロマ ツ.		成木移植 前の根廻 (活着促 進)	農林林試, (千葉林 試, 埼玉 林試.) (3)	実 ・ 継	実: 0.1% (基剤 ワセリン) 塗 布処理, 3~ 5月処理, 秋 期に移植. 継: 基剤(ラノリ ン・ワセリン ・植物性油脂) の検討.
エバダント ・ (蒸散抑制) ○ ミドリナール	乳	オキシエチレン 直鎖脂肪酸アル コール [C.16 ~26] 主として オキシエチレン	東邦千葉化学 工業 (株)	スギ, 緑化木.		苗木移植 前の萎凋 防止 (活着促 進)	福島林試, 埼玉林試, 徳島林技 センター, 茨城林試.	実 ・ 継	実: スギ苗, 堀取 り前散布また は堀取後地上 部あるいは全 体を浸漬 (10

薬 剤 名 ・ 種 類 名 ○ 商 品 名	剤型	有効成分および 含 有 率	委 託 会 社 名	対 象 と す る		適 用 場 面	試 験 実 施 場 所	今 回 判 定	判 定 理 由 ・ 内 容 そ の 他
				樹 種	雑 草				
エバダンド (つづき)		ドコサノール 10.0%					(4)		～20倍液を十分に使用)。 継：緑化木についての樹種検討。
M C - C ・ (蒸散抑制) ○ ミクロン C		パラフィン・カルナバワックス 40.0%	日本技研(株)	スギ他		苗木移植 前の萎凋 防止 (活着促進)	栃木林試、 埼玉林試、 徳島林技 センター。 (3)	実・ 継	実：スギ苗、掘取り前散布または掘取後地上部あるいは全体を浸漬(10～20倍液を十分に使用)。 継：緑化木についても検討がのぞましい。

昭和51年度茶園関係除草剤・ 試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会技術部

昭和51年度茶園関係委託試験成績検討会は、昭和52年2月17日、静岡県茶業試験場において開かれた。

すぎなかったが、関係者約15名が集まり、成績の報告・検討、質疑応答が行われ、慎重審議の結果、次のように判定された。

本年度は委託点数が少なく、2薬剤4場所に

昭和51年度 茶園関係除草剤試験薬剤一覧および判定結果

薬 剤 名 ・ 種類名 ○ 商品名	剤型	有効成分および含有率	委託会社名	新 継 別	担当場所	試験のねらい・処理方法	今回 判定	判 定 理 由 ま た は 内 容
U-67	水和	3,4,5-トリブロムN, N, α -トリメチルピ ラゾール-1-アセト アミド 75.0%	日本アップ ジョン	新	茶試枕崎 支場、静 岡県茶試、 三重県茶 業センタ ー。 3	茶園雑草に対する除草 効果と茶樹に対する薬 害発現の有無をみる。 (30～50g/a)	継	除草(特に夏処理 を中心として)効 果につき再検討。
U-67	粒	3,4,5-トリブロムN, N, α -トリメチルピ ラゾール-1-アセト アミド 6.0%	日本アップ ジョン	継	茶試本場、 1	茶樹の根におよぼす影 響ならびに土壌水分、 条件のちがいに、 薬効の差異があるかど うかをみる。 (400～600g/a)	実	昨年に同じ。 8.5%製品は、 300～400g/a、 6.0%製品は、 350～400g/a 雑草発生前土壌 処理(但し、株元 には、散布しないこと)。